

一 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

近年“グローバル化”という言葉をよく耳にする。世界が ア す

る傾向を語る際に使われるのだろうが、内実はアメリカ化というに近い。世界のどの国に行つても、ある程度の規模の都市であれば、アメリカで開発されたOSとアプリを①トウ載したスマホを使って、アメリカ発②ショウのハンバーガーチェーンやコーヒーショップの一つや二つは探し出せるに違いない。そうした誰の目にも明らかなアメリカ文化の③シントウが、世界のグローバル化を実感させるのだろう。

美術に目を向ければ、世界基準のアートと伝統的な造形が各地でせめぎあつて、いる状況と言えるだろうか。イ グローバル化の圧力は強く、世界のアートシーンはかなりのスピードで均質化してい るようにも見える。

美術のグローバル化の背景にはファインアートの広がりがある。絵画と彫刻を基軸とするファインアートという概念は西欧が生み出したものだが、明治の日本がその洗礼をまともに受けたことはあらためて述べるまでもなく、アジアやアフリカの多くの国も、早い遅いの差はあつたものの似たような状況であった。西欧発のファインアートは、近代を迎えると④マタタク間に世界基準になつたのである。

リアリズムを根幹に据えたクラシックな絵画や彫刻と、印象派以降のモダンアートではかなり顔つきが異なり、モダンアート自体そのように多様性に富んだジャンルなのだが、それらは一貫してファインアートの理念を保ち続けているように思われる。現代美術にはじめない人が多いのは、現代アートもファインアートに他ならず、観衆を教導しようとする上からの目線を感じる作品や、観衆に挑戦状をたたきつけるような威圧的な作品が多いからではないだろうか。

日本の美術界は学校教育から最も権威ある団体展とされる日展に至るまで、いまだにファインアートの呪縛下にあるようだ。

□ ウ その歴史はさして長くはない。ファインアートという概念が流入したのは明治時代のことで、近年盛んに議論されているように、美術という言葉自体、英語の fine art、あるいはドイツ語の schöne Künste の翻訳語として登場した新しいものなのである。

日本にも足利義満や豊臣秀吉のような権力を人々に見せつけようとする支配者も時折現れたが、西欧の絶対王政君主や明や清の皇帝に比べれば、日本の権力者のスケールはさほどでもなかつたよう見える。江戸時代に日本の美術は成熟期を迎えたが、その^⑦相貌は、同時期の西欧のファインアートとはかなり異なつていた。

江戸時代においても狩野派の襖絵のようなファインアートと呼ぶ

べき威圧的な造形はもちろん作られているが、それらはむしろ少數派であるように見える。江戸の町人は高度でありながらも^⑧廉価な錦絵を大量に消費し、京都の小金持ちは円山応挙工房が制作するかわいい犬の小幅を購入し、東海道を行く旅人は大津の宿で^⑨土産に大津絵を買い求め、村人たちは我が里の^⑩鎮守を盛り立てようと、隣村の神社に劣らぬ装飾彫刻の制作に資金を出し、見栄えのする大絵馬を奉納したのである。

西欧の貴族的なファインアートに比べれば、江戸の造形ははるかに庶民的である。江戸時代の美術史は、見る者の顔をほころばせる造形を軸に展開した。その果实と言うべき浮世絵版画は西欧の絵画と造形原理が大きく異なつていたが、それが海を渡つて印象派と呼ばれることになる画家たちにインスピレーションを与えた、モダンアートへと導いたのである。

(矢島新『日本美術の核心——周辺文化が生んだオリジナリティ』（筑摩書房、二〇二二年）に基づく)

問一 傍線部①②③④⑤について、カタカナを漢字にあらためよ。

問二 傍線部⑥⑦⑧⑨⑩について、その読みを平仮名で書け。

問三 空欄 ア に入るもつとも適当な三文字の表現を本文中から抜き出せ。

問四 空欄 イ と空欄 ウ には同じ表現が入る。空欄 イ、空欄 ウ に当てはまるもつとも適当な表現を次の選択肢①～④の中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① なるほど ② はたまた ③ ただし ④ しかも

問五 二重傍線部A 「見る者を威圧する立派な造形」について、次の（一）（二）の問いに答えよ。

（一）「見る者を威圧する」と反対の意味で用いられている十二字の表現を本文中から抜き出せ。

（二）「立派」と反対の意味で用いられている三字以上・五字以内の表現を本文中から抜き出せ。

問六 二重傍線部B 「席巻」について、次の（一）（二）の問いに答えよ。

（一）「席巻」の読みを平仮名で書け。

（二）「席巻」の意味としてもつとも適当なものを次の選択肢①～④の中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 勢力範囲を急速に拡大していくこと
② 領土や領域をじわじわと拡張していくこと
③ にわかに先頭に躍り出て、頂点を極めること
④ 徐々に周囲を取り込み、やがては旗頭となること

問七 次の①～④の各文について、本文の内容と合致するものには○を、合致しないものには×を記せ。

- ① ファインアートの原点は、主流ではなかつたものの足利義満や豊臣秀吉といった日本の権力者にある。
- ② 江戸時代の村人たちによる隣村の神社にも負けない装飾彫刻への資金拠出や、見栄えのする大絵馬の奉納は、他者を圧倒するファインアートの一例である。
- ③ 現代アートはファインアートの一部であり、人々に恐怖を感じさせたり、観衆を教導したりするような作品が多数を占めることから、これに疎外感を覚える人が少ないと思われる。
- ④ 印象派の画家たちの絵画が、リアリズム偏重のそれまでの絵画とは異なつたものになつたことには、江戸時代の浮世絵が関係している。

二 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

道徳的観点

スポーツカーについて考えてみよう。と言つても、私はスポーツカー

に詳しくないので、最近古い自動車に夢中の小学生の長男に「何かスポーツカーを教えてよ」と訊いてみる。長男は「アルピーヌA110」と答える。私はインターネットで検索し、中古車屋さんのウェブサイトで一九六七年式のアルピーヌA110が売られているのを見つけ

エレガントで美しいんだよ」とうれしそうに語りだす。そして、「買

いなよ。俺も乗りたい」と言う。

ア、私は買わない。高価すぎでちょっと手が出ない。それにたとえお金があつたとしても、二人乗りなので家族で出かけることもできない。

「そのうえ」と私は考える。「このような燃費の悪い車に乗ることは環境に悪い。環境破壊に積極的に加担することは、間違っているのでは高そうだな」というものである。価格は「応相談」と書かれている。どうも一千万円をきることはなさそうだ。

長男がのぞき込んできて、「すごいでしょ。この丸みを帯びた形が

イ

、このように我々は様々な観点から物事を考える。一台

のスポーツカーについて、我々はそれが高価だとか、^① ①持費がかかりそ่งだとかといった金銭的観点から考え、それが美しくエレガントだと美的観点から考え、それを購入するのは不合理だと^A 分別の観点から考え、そして、環境破壊をもたらすのでその車を乗り回すのは不正かもしないと道徳的観点から考える。

最後に言及した道徳的観点とはどのような観点だろうか。これを厳密に定義するのは難しい。道徳的観点と非道徳的観点を厳密に区別するような仕方で「道徳的」という語の定義を述べるのは困難であるし、そもそもそのような定義が存在するかどうかを疑わしい。ウ、厳密な定義を述べることができないとも「道徳的観點」という用語を使うことはできる。(一)では私がその用語で何を考えているのかをいくつかの例を出しつつ^② 大雑把に説明しておくことにしたい。

一つには道徳的観点とは、「善悪」「正義」「平等」、あるいは「残酷さ」「勇敢さ」といった概念を用いる観点である。例えば、私が学校の先生だとしよう。私が担任をしているクラスでいじめがあり、私はいじめていた子を呼び、話をする。私は「いじめをしているとみなに嫌われて結局損をするよ」とその子を^③ サトすかもしれない。このとき、私は道徳的観点ではなく、分別の観点から考え、語っている。

それはいじめが自分にとって損か得かという意味での合理性について考える観点である。しかし、もし私が「いじめはいじめられている子を深く傷つけるから、悪いことだよ!」と言つならば、私はいじめを「道徳的な悪」として特徴づけており、道徳的観点からその子を叱つてはいる。他にも、「本当の意味で男女が平等な社会とはどのような社会だろうか」「環境破壊は将来の世代に害を加えることであり正義に反する」と考えるとき、エ、強盗殺人犯を「残酷だ」と非難し、内部告発によりハラスメントを告発した人を「勇敢だ」と称賛するとき、我々は道徳的観点に立っている。

(一)のように我々は「善悪」「平等」「正義」「残酷さ」「勇敢さ」などの概念を用いて道徳的観点から思考する。しかし、道徳的観点はこれららの典型的に道徳的、倫理的意味合いを帯びた概念のみによって構成されているわけではない。我々はより日常的な概念を使用しつつ、道徳的観点に立つこともある。

例えば、^④ マン画などでよくある父と子の葛藤の場面を考えてみよう。父親と息子は長年対立している。息子は「あんなやつ父親じゃない」と言い、決して父親を「お父さん」と呼ばない。しかし、様々な出来事を経て二人はお互いを理解するようになる。そして、息子は最後に――たぶん父親の死の場面で――ついに「お父さん」と

言う。この「お父さん」という言葉には、一種の道徳的な赦しが表現されている。Bもちろん、「お父さん」という語は常に道徳的観点から用いられるわけではない。私の息子が「お父さん、今日の晩ごはん何?」と私に訊くとき、特に道徳的観点から何かが言われているわけではない。しかし、特別な赦しが問題となるような場面では、そこの「お父さん」という言葉は道徳的観点から発せられている。

以上の例示により、私が「道徳的観点」ということで何を考えているかは、おおよそ理解してもらえたと思う。それは金銭的観点、美的観点、分別の観点などなどから区別され、人として、社会として、根本的に重要なことに関わる観点である。

道徳的思考と価値観

この本において私はこの道徳的観点から物事を考えるはどういうことなのかを探求する。すなわち、私は「道徳的思考」とは何かを解明することを目指す。私のアプローチはパッチワーク的なものであり、道徳的思考の本質を取り出し理論的に解説することを目指すものではない。そうではなく、それは道徳的思考が現れている現場をよく見ることで、その様々な側面を提示していくとするものである。

私自身はこのようなイメージを受け入れない。確かに道徳的思考は価値観に関わるが、しかし、様々な価値観の間に優劣がないとは言えない。私の考えでは、価値観の中にはより正しい、もしくは、よりよい価値観があり、何が正しいことなのか、何がよりよいことなのかを考察し、探求することは意味をなす。

この点について深く論じることはこの本の主題ではないので、ここで簡単な指摘を一つしておこうと満足しよう。私が指摘したいの

細かい議論は次章以降で行うとして、ここでは導入として少しゆるやかに道徳的思考に対するイメージについて語っておこう。道徳的思考に対してもしばしば持たれているイメージは、それが価値観の押しつけに帰着するというものである。そのイメージによると、人はそれぞれ自分の価値観を持つているが、それらの価値観の間で^⑤優劣をつけることはできず、したがって、そのような価値観が道徳的観点から——例えば「正義」として——主張されると、それは価値観の押しつけとなる。例えば、「脳死臓器移植は許されるのか」とか「死刑制度を存続すべきか、廃止すべきか」とかといった意見の分かれる道徳的、倫理的問題について議論をするとき、それぞれの立場の論者は、結局のところ自分の価値観を押しつけようとしているに過ぎない。このようなものとして道徳的思考はイメージされることがある。

は、多くの場合において、道徳的思考が価値観の押ししつけに過ぎないことは我々は考えない、ということである。確かに脳死臓器移植の⑥是非や死刑存廃論といったちょっと自分から縁遠い話題については、価値観は人それぞれだと黙ってすませたくなるところがある。実際、私の経験でも、授業でこれらの話題を扱うと、多くの学生がそれは価値観の問題で決着をつけられない、というような意見を述べる。しかし、例えば自分の知人にひどい嘘をつかれたとか、自分の親しい人がハラスメントを受けたとかというようなときに、「まあ、価値観は人それぞれでそういうのを悪いと言う人もいれば、それほど問題にしない人もいるよね」とさばけた態度をとるだろうか。そのような場合、我々は「それは間違っている！」と留保をつけることなく判断し、⑦憤るのではないだろうか。もちろん、我々がどういう態度をとるかということと、実際にそのようなケースで「正しい／間違い」の区別があるかどうかということとは別のことである。しかし、さしあたり、道徳的思考を価値観の押しつけとしてイメージする必然性はなく、この本において私自身はそのようなイメージを受け入れないといふことを確認することで満足し、この点についてはこれ以上踏み込まないことにしよう。

道徳と規則

別の関連するイメージもある。以前にテレビのニュースを見ていたときのことである。セクハラに関するニュースをやっていて、町の人の意見を聞くという映像が流れていた。その中で、会社員風の男性が、「昔とルールが変わってしまった難しくなりましたね。何が正しいルールか教えてほしいです」というようなことを述べていた。

(二)にあるのは、道徳的思考とは社会が⑧恣意的に決めた規則を適用することだ、というイメージによる、道徳とは規則の問題である。そして、規則自体には何か絶対的根拠のようないのはないが、社会は何らかの規則を決まり事として採用し、流通させている。したがって、道徳的に考えるとは、結局のところ、そのような規則を適用することに存する。このように考えられているのである。

私はこのイメージも採らない。もう何年も前のことなので具体的に何のニュースだったのか思い出すことはできないが——残念ながら、セクハラはしばしばニュースになる——そのニュースを見ながら、私はこれは非常に非道徳的なイメージだと思った記憶がある。

ニュースでコメントをしていた男性は、道徳を恣意的に採用された規則の問題としてイメージしている。そのため、セクハラに関する社

会の変化も、問題認識の深まりではなく、規則の変化として捉えられる事になる。そのうえで、セクハラに関しては規則が明確にならないと戸惑いを表明しているわけである。

このようなイメージにおいて抜け落ちているのは、他者の苦しみに対する感受性である。セクハラという概念が流通する以前から、女性であるという理由で多くの女性が性的なハラスメントに苦しめられていたということ。そして、現在でもそのようなハラスメントによる苦しみが存在しているということ。私のイメージではそのような苦しみを理解しようと努めることは道徳的であるとの重要な一部であるが、先の男性の発言からはその点がまったく抜け落ちてしまっている。もちろん、通りすがりの人の発言を^⑨ヒロ^⑩った映像であり、その男性の^⑪リョ^⑫のうえでの見解を報じているわけではないだろう。しかし、道徳を規則の問題としてイメージし、「とにかく正しい規則を教えてくれたらそれに従うのに」と考えることは、他者の苦しみや

「こちやこちやした活動としての道徳的思考

私が提示したいイメージは、道徳的思考を価値観の押しつけや規則の適用といったシンプルな活動ではなく、多様な要素を含む、もつと「こちやこちやした活動として捉えるものである。すなわち、私のイメージでは、道徳的思考とは他者の苦しみや観点を理解しようと努め、不正に慣るとともに、想像力を用いた考察により自他の物の見方を問い合わせていく活動である。それは理性、感情、想像力といった自己的能力を総動員する活動なのだ。

（大谷弘『道徳的に考えるとはどういうことか』（筑摩書房・二〇二三年）に基づく）

- 問一 傍線部①③④⑨⑩について、カタカナを漢字にあらためよ。
- 問二 傍線部②⑤⑥⑦⑧について、その読みを平仮名で書け。

観点を理解しようと努めることという道徳的思考の重要な部分を取りこぼしてしまっているように思われるのである。

問三

空欄 A B

に入る表現としてもつとも適當なものを次の選択肢①～④の中からそれぞれ一つ選び、記

号で答えよ。なお、同じ表現は二度は使用しない。

- ① あるいは ② しかし ③ もちろん ④ さて

問四

二重傍線部 A 「分別」について、次の（一）（二）の問いに答えよ。

- （一）「分別」の読みを平仮名で答えよ。

（二）「分別」の意味としてもつとも適當なものを次の選択肢①～④の中から一つ選び、記号で答えよ。

- （二）① 物事について、道理や善惡などの面から考へること。
② 種類の面から、区別をしたり区分したりすること。
③ 多くの物の中から、優れたものを選り分けること。
④ 無条件に物事を続けるのではなく、どこかで区切りをつけること。

問五

二重傍線部 B 「もちろん、「お父さん」という語は常に道徳的觀点から用いられるわけではない」について、「道徳的觀点から用いられる」場合のほかに、「お父さん」にはどのような用いられ方があると筆者は考へているのか。「としての使い方」という表現に繋がるよう八字の表現を本文中より抜き出せ。

問六

二重傍線部 C 「私はこれは非常に非道徳的なイメージだと思った」について、筆者はなぜ非道徳的だと思ったのか。その理由を次の二つの条件に従つて説明せよ。

- 【条件1】六十字以上、八十字以内でまとめる（句点・読点はそれぞれ一文字として数える）。
- 【条件2】「規則」という表現を用いる。

三

次の(一)(二)の問いに答えよ。

(一) 慣用表現「味噌をつける」について、その意味としてもっとも適当なものを次の選択肢①～⑤の中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 健康的に過ごす ② 手間をかける ③ 面目を失う ④ 自慢する ⑤ 相手に媚びる

(二) 次に示すのは、相手の気持ちや態度次第でこちらの応じ方も変化する、という意味の慣用表現である。この表現の□に当てはまるもっとも適当な漢字を次の選択肢①～⑤の中から一つ選び、記号で答えよ。

□心あれば水心

- ① 魚 ② 野 ③ 恋 ④ 真 ⑤ 二

～以下余白～